

企画展

染色

布へのアプローチ

2016. 5/12(木) ▶ 6/15(水)



開館時間：9:30～17:00 入館無料

休館日：日曜、5/30(月)
※5/29(日)は開館

開催場所：東京家政大学内
百周年記念館5階展示室

下車駅：
JR 埼京線「十条駅」徒歩5分
都営三田線「新板橋駅」徒歩12分

企画展関連イベント（事前申込み不要）

■ 博物館見学ツアー

企画展・常設展の解説や収蔵庫見学
日時：5/16(月)～20(金)15:00 から(45分程度)
15:00 に企画展受付にお集まりください。

■ ギャラリートーク

当館学芸員による展示品解説
日時：6/2(木)、6/14(火)15:00 から(40分程度)
15:00 に企画展受付にお集まりください。

■ 絞り染めでハンカチを染めよう

日時：5/26(木)、6/11(土)13:30～15:30
定員：各日15名(希望者多数の場合は抽選)
13:30 に企画展受付にお集まりください。
※汚れてもよい服装でお越しください。

■ 型紙を彫ってみよう

5×12cmの小さな型紙を彫ります。作業時間は10分程度です。
日時：5/20(金)、5/31(火)13:00～14:00
百周年記念館4階の会場へ直接お越しください。
※混雑時はお待ちいただくこともございます。

参加費は全て無料です。
詳細は当館ホームページをご覧ください。

関連展示

本学元非常勤講師 堀友三郎氏(1924-2014)の作品や道具を展示します。
スケッチ、丸紋、型紙、画材等



上：丸紋型紙「みもぞ」
右：堀友三郎氏使用の油絵具セット



※ JR埼京線十条駅(北口)より十条門まで徒歩5分
※ 十条門より博物館まで徒歩3分
※ 正門におまわりいただくと分かりやすいです。

企画展

染色
布へのアプローチ

染色は、古くより人々の衣装や生活用品に用いられ時代の歩みに沿って発展を遂げてきました。一口に染色といっても技法は数多く存在し染め上げられた布は様々な表情をみせます。本展では、絞り染、友禅染、型染といった「防染技法」を用いた江戸時代後期から平成期の小袖や振袖等を展示するとともに、本学元非常勤講師堀友三郎氏や本学教員のパネル形式の染色作品、そして造形表現学科の卒業制作作品をご紹介します。

それぞれの技法や形式の特性を活かして染め上げられた布の作品をご覧ください、異なるアプローチによる染色の魅力をお楽しみください。



絞り染の着物
2002(平成14)年



型染の被衣



友禅染の祝着
大正～昭和初期



染色画「室内」堀友三郎作
1962(昭和37)年



染色画「寂」堀友三郎作
1977(昭和52)年



染色画「ポロブドール遺跡」堀友三郎作
1991(平成3)年

※展示期間：5/12(火)～5/29(日)

1	2	3
4	5	
6	7	

表面図版(1～3、5～7は部分)

- 1：友禅染の振袖(昭和25～30年) 2：染型紙の模様 3：型染の帷子(江戸時代後期)
- 4：丸紋型紙「グロリオサ」堀友三郎作 5：絞り染の着物(江戸時代) 6：型染の被衣
- 7：染色画「ふくろう」堀友三郎作1966(昭和41)年

常設展のご案内

常設展①

創立135年を迎える本学の歴史を紹介します。

- ・学園の歴史と創設者
- ・渡辺学園裁縫雑形コレクション(重要有形民俗文化財)
- ・渡辺学園の歩み

常設展②

コレクション展示「日本の食ーさかなー」

魚を使った郷土料理や水産加工品など、日本の風土の中で育まれてきた「さかな」の食文化について食品模型や写真パネルで紹介いたします。